

CASBEE神戸ver.3
特別養護老人ホームさくらガーデン(仮称)新築計画

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.4
Q1 室内環境							0.40		-	3.2
1 音環境						3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル		レベル4を満たす騒音レベル				4.0	0.40	4.0	0.40	
1.2 遮音						3.2	0.40	3.1	0.40	
1 開口部遮音性能		T=2				5.0	0.40	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能						2.0	0.60	2.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		LH=50				3.0	-	4.0	0.20	
1.3 吸音						1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境						2.5	0.35	2.2	1.00	2.4
2.1 室温制御						3.2	0.50	3.4	0.50	
1 室温						3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能		外壁:U値≒0.5 窓:U値≒3.5、SC値≒0.5				4.0	0.25	4.0	0.43	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式						1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境						3.2	0.25	3.5	1.00	3.3
3.1 昼光利用						4.2	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率		共用部分:7.1%、住居部分:3.3%				5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口							-	3.0	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御						3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度						2.0	0.15	1.0	0.15	
3.4 照明制御		ベッド単位で照明制御可能				3.0	0.25	5.0	0.25	
4 空気環境						4.4	0.25	4.2	1.00	4.3
4.1 発生源対策						5.0	0.50	5.0	0.63	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆の採用				5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.30	3.0	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		1/10以上				3.0	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理						5.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視						3.0	-		-	
2 喫煙の制御		全館禁煙				5.0	1.00		-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.3
1 機能性						3.7	0.40	4.6	1.00	3.9
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		個室10m ² /床以上				3.0	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応						3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性						5.0	0.30	4.0	0.40	
1 広さ感・景観						3.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						3.0	-		-	
3 内装計画		インテリアパースによる事前検証				5.0	1.00	5.0	0.50	
1.3 維持管理						3.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い材料の使用				4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性						3.1	0.30		-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.6	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		20年以上				5.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		SUSダクトの採用				5.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の2種以上にB以上を使用しEは不使用				5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20		-	
2.4 信頼性						2.8	0.20		-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20		-	
3 電気設備						3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備						2.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			2.7	0.30	2.9	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり			2.2	0.30	2.8	0.50	
1 階高のゆとり			1.0	0.60	2.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率:0.24	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.7
1 生物環境の保全と創出		自生種の保全	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮		植栽により良好な景観を形成	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-		-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.65	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		ハイサイドライトの採用	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.88	2.6	0.50	-	-	2.6
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	
集合住宅の評価			3.0	-		-	
4.1 モニタリング			3.0	-		-	
4.2 運用管理体制			3.0	-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		省水型機器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ボード(天井)、ビニル系床材(床)、再生骨材(舗装)	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		再利用可能部材を採用	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.9	0.20	-	-	3.9
3.1 有害物質を含まない材料の使用		建材種別4つ以上	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		ノンフロン製品の採用	4.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出量削減に配慮	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		適切な量の駐車スペースを確保	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害チェックリストの過半を満たす	5.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	